

令和8年度第2回庄原市情報教育研修会

- 日 時：令和8年7月30日（木） 14：00～16：35
- 場 所：庄原市総合体育館 第2会議室
- 対象者：庄原市内各小・中学校のICT活用推進リーダー

目 的

ICT活用推進リーダーとしての役割を理解し、児童生徒の情報活用能力の育成に向けて組織的な取組ができる校内体制の確立を図るとともに、ICT活用推進リーダーとしての資質・能力の向上を図る。

講話 「本市におけるタブレット端末活用状況について」

庄原市教育委員会 教育指導課 末田 和也



【講話の概要】

学校・教員に実施したタブレット端末利用調査をもとに、本市の成果や課題について講話を行った。また、MEXCBTの使い方、問題の出し方を確認した。

- ・小学校高学年以上の授業におけるタブレット利用状況は増加しており、ICTを活用した学びが増えている。
- ・一方、教員による利用の差や子供たちのスキルの差がある。差を埋めるために、市としてもタイピング検定等取組を進める。
- ・次の全国学力・学習状況調査はタブレット端末でMEXCBTを使って行われる。子供たちが本来の力を発揮できる土台作りが必要となる。

報告 「令和7年度学校教育の情報化指導者養成研修を終えて」

庄原小学校 教諭 仲榮眞 慎太郎



【報告の概要】

令和7年度学校教育の情報化指導者養成研修の受講内容や研修を受けた自校での取組について、演習を交え、実際にタブレットを操作しながら報告をした。

- ・次期学習指導要領では情報活用能力の育成に向けて「情報の領域」「情報・技術科」が新たに新設される予定であり、系統的な指導が必要になってくる。
- ・自校でも行事予定や施設利用予定をクラウド化しており教員が日常的に使う機会を作っている。生成AIも含めまずは先生方が使ってみることが大切。
- ・授業ではインプット・アウトプットする場を設定し、情報を適切に扱うことで自ら姿勢を育めるよう取組を行っている。

交流 「各校における情報モラル教育について」 「授業及び校務におけるICT利活用について」

【交流の概要】

- ・各校作成した情報モラルアクションプランシートをもとに、日常的に教員が子供たちにどのような声掛けをするか等、各校の課題や状況について交流した。
- ・子供たちの情報活用能力の育成に向けて、2学期以降何から取り組みが良いか交流を通して、次への一步となる取組を考えた。



【参加者から】

- ・学年に合わせた情報を活用する能力やタイピング能力を身に付けさせていく必要がある。情報モラルの大切さを周知するとともに、先生方にもクラウド化することで日常的に触れてもらえるようにしていきたい。
- ・MEXCBTを活用した帯タイムや家庭学習を2学期から始めたい。情報活用能力について校内でも研修したい。
- ・生徒に情報技術を活用させる際には、ルールを明確に示したり、具体的な活用方法を指導したりと準備が必要であると感じた。
- ・ICTを使うことが目的ではなく、「今後子供たちに求められる資質・能力の育成」が目的であることを、もう一度自校の教職員で認識を統一したい。